

# 急ぐのは **広島駅** 自由通路(127億円)より

**日本共産党**  
9月議会報告

## 学校のエアコン整備(60億円)



9月21日、一般質問する藤井とし子議員

「30度以下が望ましい」  
— 学校環境衛生基準まもれ! —

今年の異常な猛暑で学校の教室の温度が40度近くなる中、9月になって授業中6人が病院に搬送されるという異常な事態が起きました。

これまで日本共産党市会議員団は普通教室にエアコン整備をと粘り強く要望し、昨年度から整備が始まり今年中に15校で整備が完了します。今年の猛暑に間に合った学校では子どもたちが大変喜んでいます。

京都市や川崎市では短期間で整備

しかし、市の計画では耐震工事と併せて行うため、残りの212校に整備が完了するのにあと8年もかかります。8年は長すぎます。

エアコンがある学校とない学校がある

という不公平が長く続くのは教育的に問題です。京都市や川崎市では2、3年という短期間に全校に整備しました。

耐震工事とともに一刻も早くエアコン整備を完了するよう強く求めました。

自由通路イコール橋上駅

広島市では、若草地区市街地再開発事業をはじめ、二葉の里区画整理、新幹線口広場整備、広島駅自由通路など総事業費が112.9億円にもなる広島駅周辺開発が進められようとしています。

とりわけ、広島駅自由通路として127億円かけて事実上のJR橋上駅をつくるのですが、市の負担は9割、JRは残り1割しか負担しないというのは驚きです。

優先すべきは学校のエアコン整備

JRのための橋上駅より、学校のエアコン整備の方が優先ではないでしょうか。

全校へのエアコン整備は1教室当たり155万円、全体で60億円あればできます。



あつい! 2009年、文部科学省が改訂した「学校環境衛生基準」には、教室内の室温は、「10度から30度以下であることが望ましい」となっています。

またしても

### 費用弁償廃止条例案 否決

「議員報酬の二重取り!」と批判されてきた費用弁償(※)を廃止しようとする条例案を提案しましたが、またしても否決されました。

費用弁償の受け取りを拒否していた豊島岩白議員(西区)が、法務局に供託されていた費用弁償のうち34万円を、ひそかに引き出していたことが明らかに。このことを受け、今期で4度目の廃止提案をしました。

しかし、賛成したのは日本共産党(5人)を含め16人だけで、自民党や市民連合などの反対で否決されました。これは来年の選挙で改めて問われることになります。

※ 費用弁償  
議員報酬とは別に、議会の会議に出席するごとに、1回8千円または5千円が支給される。

### 意見書 全会一致で採択

若草町地区市街地再開発事業における保留床取得資金の貸付に関する決議案

広島駅北口再開発事業で建設されたビルに入るテナントが決まらず、事業を進めてきた大和システム(株)も、破たんしました。

今年の3月議会では、テナント斡旋会社に広島市が「40億円の無利子貸付け」を行う議案を可決。このような状況のもとで貸付けを実施すれば、返済されず市民負担になる最悪の事態が予想されることから、貸付にあたっては、事業収支計画をしっかりと検証し、慎重な対応をするよう求める決議案を全会一致で採択しました。



日本共産党  
市議会報告

第75号 2010年10・11月

発行/日本共産党広島市会議員団  
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 (市議会内)  
TEL082(244)0844 FAX082(244)1567  
Eメール k-shigi@jcp-hiro-shigi.jp

日本共産党広島市会議員団の活動を紹介します。

この議会報告は政務調査費を使って作成しています。

オリンピック招致については、特別号をお読みください



# 中小業者へ仕事を！ 地元発注を約束させる

9月補正予算で公共施設に「こども対応型トイレ」を設置することを決めました。

この事業は、幼児連れの家族が外出しやすい環境を整えるため、県の「安心こども基金」を活用して、集会所、公民館、福祉センターや児童館、街区公園等の公共施設のトイレを、幼児対応型洋式トイレに取り替えるというものです。

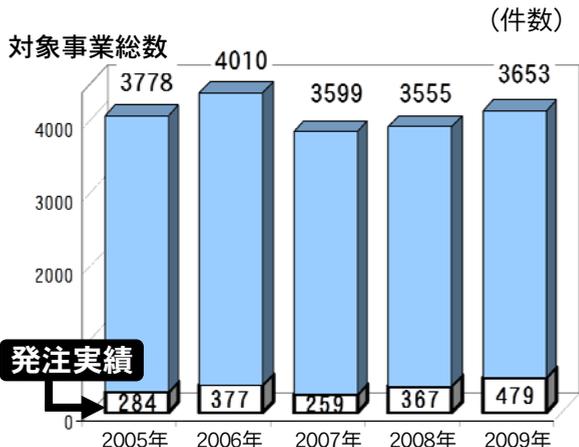
日本共産党市会議員団は、この事業を50万円以下の修繕工事を地元業者に発注する「小規模修繕契約希望者登録制度」を活用し、中小業者への仕事おこしを求めました。

市は、制度を活用しよう発注する所管局に周知することを約束しました。

左のグラフが示すように、小規模修繕の対象事業のうち、登録業者への発注件数は10%前後となっています。

今後も、制度の活用を広めていくため力をつくします。

50万円以下の小規模修繕工事の推移 (件数)



※小規模修繕契約希望者登録制度とは……日本共産党市会議員団と地元業者のみならず、ねばり強く要望し、5年前に実現させた制度です。

## 中原ひろみ 建設委員会

### 高速五号線トンネル

これまでのいい加減なやり方をまず謝罪すべき

牛田地区での6本の追加ボーリング調査の提案に、地元は合意していません。

その理由は、「福木より地盤は頑丈で、地盤沈下は2cm」との会社の評価に疑問があるからです。①「切り土」が「盛り土」より影響が小さい。②実施済みの33本の現地ボーリングデータを使わず、「日本道路公団」や「本州四国連絡橋公団」のデータで評価。③「福木トンネルの地盤沈下」は、地下水位の低下が原因なのに、五号線トンネルでは地下水位低下による沈下の評価がされていない。④重要な地点のボーリング位置が移動している。など——これまでの会社の沈下予測の問題を指摘し、地元住民が納得するていねいな説明と、これまでのいい加減な評価への謝罪を求めました。

## 藤井とし子 消防上下水道委員会

### 豪雨浸水に抜本的な対策を

長束と口田地域で起こった7月の豪雨による、600世帯を超える床上・床下浸水被害について、原因究明と抜本的な対策を求めました。

「排水ポンプの増強とともに、雨水の一次貯留施設も入れて、今後、国、県、市による『3者検討会』で幅広く検討していく。地元説明会を開くことも調整していく」と答弁しました。

## 中森 辰一 厚生委員会

●国民健康保険の広域化についての市の対応をただし、市独自の低所得者対策の維持などを求めました。また保険料が高すぎることで滞納の原因だと指摘し、引き下げを求めました。

●自立援助ホーム(NPOなどが開設準備中)の運営は本来市の責任であると指摘し、十分な資金援助を求めました。

●政府による公的保育制度解体の動きの中で、公立保育園の果たすべき役割を強調し、公立保育園の民間移管中止を求めました。

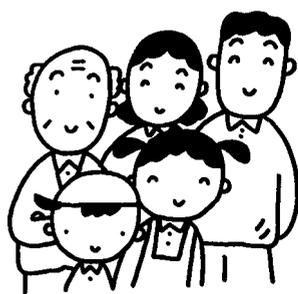
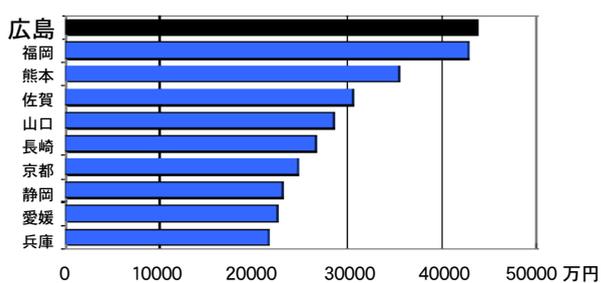
## 村上あつ子 経済環境委員会

### イノシシ被害 広島県 全国1位 本腰入れた鳥獣被害対策を!

山林の荒廃と過疎化の進行に伴って、イノシシやシカを中心とした鳥獣による農作物への被害が深刻化しています。2008年度の都道府県別の鳥獣被害額は広島県は全国7位。イノシシ被害は第1位です。(グラフ参照)広島市における被害額もこの5年間、毎年5千万円~6千万円台の被害が発生しています。

これ以上農家の方が生産意欲を減退させることのないよう、農業を守り、発展させていく立場で、県・市一体となって本腰を入れた対策を行うよう求めました。

イノシシによる都道府県別の農作物被害状況 (平成20年度、ワースト10)



## 村上あつ子 文教委員会

### ●教育環境の学校間格差は放置できない!

国の交付金を活用し、耐震工事を急ぐとともに、短期にすべての学校にクーラーを設置する手法を検討するよう迫りました。

### ●就学援助は「拡充」を!

事務事業見直し検討委員会で検討対象に挙がっている就学援助制度は「削減」ではなく、「拡充」を図りたいことを確認しました。

## 皆川 恵史 総務委員会

### 低価格入札の改善を

広島市が毎年発注している施設の「清掃」「警備」や「道路・公園の維持管理」など、「業務委託」で多くの市民が働いています。

ところが低価格入札が増える中で低賃金化が進み、年収200万円以下のワーキングプアの人たちによって、公務が支えられています。このような実態を取り上げ改善を求めました。市は、「適正な労賃が払われているかどうかチェックしたい」と前向きな答弁をしました。

市民の願いを議会にとどけました